

2026 年度グローバル日本学教育研究拠点「拠点形成プロジェクト」

募集要項

1 趣旨

グローバル日本学教育研究拠点では、教育・研究両面での拠点形成という目的の達成に資する「拠点形成プロジェクト」を公募いたします。国際性・学際性・社会学連携性という本拠点の特長を踏まえ、既存の組織的・学問的枠組にとらわれない取り組みを本拠点のプロジェクトとして採択し実施します。本事業の目的は、広い意味での日本学を基盤として既存の枠組を超えた人的ネットワークを形成しつつ、グローバル人材を育成するための新たな教育プログラムを開発するとともに、グローバルな研究発信力を備えた新たな研究拠点を構築することにあります。既存の枠組では取り組みにくい学際的・国際的・社会学連携的な取り組みを積極的に推し進めることで、日本学を基盤とした新たな教育研究プラットフォームを築くことを目指します。

2 プロジェクトの概要

以上の趣旨を踏まえ、本事業では、「教育プログラム開発型」と「研究拠点構築型」との2つのタイプに分けて、拠点形成プロジェクトを募集いたします。

①プロジェクト代表者

プロジェクトの代表者は本学の専任教員としてください。プロジェクトが採択された場合、代表者の方には、原則として本拠点の兼任教員になっていただきます。なお、本学の専任教員と共同でプロジェクト代表者となる場合に限り、特任教員の応募を認めます。

②プロジェクトの構成員

プロジェクトの遂行に必要な人数により構成してください。ただし、代表者を含め2名以上は本学の教員が含まれるかたちとしてください。また、構成員の年齢・ジェンダー・国籍等のバランスに留意してください。(大学院生を構成員に加えることはできません。大学院生はプロジェクトのリサーチ・アシスタントとして雇用するなどのかたちで参加させてください。)なお、「教育プログラム開発型」で応募する場合は、グローバル人材育成部門長に事前にご相談ください。

③プロジェクトの期間

プロジェクトの期間は、原則として3年とします。

④経過報告・成果報告

本拠点発行の **Annual Report** で毎年度経過報告(2頁程度)をしていただくとともに、最終年度には最終の成果報告をしていただきます。「教育プログラム開発型」プロジェクトの成果としては新たな教育プログラムの実施に至ることが、「研究拠点構築型」プロジェクトの成果としては研究成果が出版されることが、期待されます。なお、本拠点の主催する国際シンポジウム、ワークショップ等で、プロジェクトの途中経過や最終成果を発表していただく場合があります。

⑤経費

2026年度はスタートアップ経費として50万円を支給します。(2027年度以降については未定です)。

⑥採択件数

3件程度を予定しています。

⑦留意事項

採択されたプロジェクトに対しては、スタートアップ経費を支給するほか、拠点ホームページ等を通じた広報を積極的に展開し、プロジェクトの学内外、国内外における認知度の向上に努めます。

前記（「2 プロジェクトの概要 ①プロジェクト代表者」）の通り、採択されたプロジェクトの代表者には、原則として本拠点の兼任教員になっていただきます。兼任の期間は、採択年度の10月からプロジェクト終了時までとし、終了時には兼任継続の可否につき打診させていただきます。

3 申請手続

①提出書類

所定の「実施計画書」に必要事項を記入したうえで電子メールに添付して締切までに下記の書類提出先に送付してください。

②提出期限

2026年6月12日（金）正午

4 選考方法

グローバル日本学教育研究拠点運営委員会において書類審査を行い採否を決定します。その際、必要に応じてプロジェクト代表者に対しヒアリングを実施します。

5 選考基準

- ①広い意味での日本学を基盤とした取り組みであること。
- ②国際性・学際性・社会学連携性のいずれかを備えていること。
- ③グローバル人材を育成する新たな教育プログラムの開発、または、グローバルな研究拠点の構築に資するプロジェクトであること。
- ④プロジェクトの構成員の年齢・ジェンダー・国籍等のバランスに十分な配慮がなされていること。

6 選考結果の通知

2026年7月上旬頃（予定）

7 問い合わせ先・書類提出先

問い合わせ先

グローバル拠点形成部門長 宇野田尚哉（人文学研究科教授）

unoda.shoya.hmt@osaka-u.ac.jp

書類提出先

グローバル日本学教育研究拠点事務室（内線：豊中172-6394）

gjs-eri@office.osaka-u.ac.jp（グローバル日本学教育研究拠点：藤田）

2026年5月1日

グローバル日本学教育研究拠点運営委員会